

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-309448

(43)公開日 平成6年(1994)11月4日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
G 0 6 F 15/64		H 7631-5L		
	3 2 0	C 7631-5L		
E 0 5 B 49/00		R 9024-2E		
G 0 6 F 15/00	3 3 0	E 7459-5L		
15/62	4 6 0	9071-5L		

審査請求 未請求 請求項の数1 書面(全4頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平5-127697

(22)出願日 平成5年(1993)4月21日

(71)出願人 591133228

株式会社松村エレクトロニクス  
東京都葛飾区新小岩2丁目3番3号

(72)発明者 松村 レミ

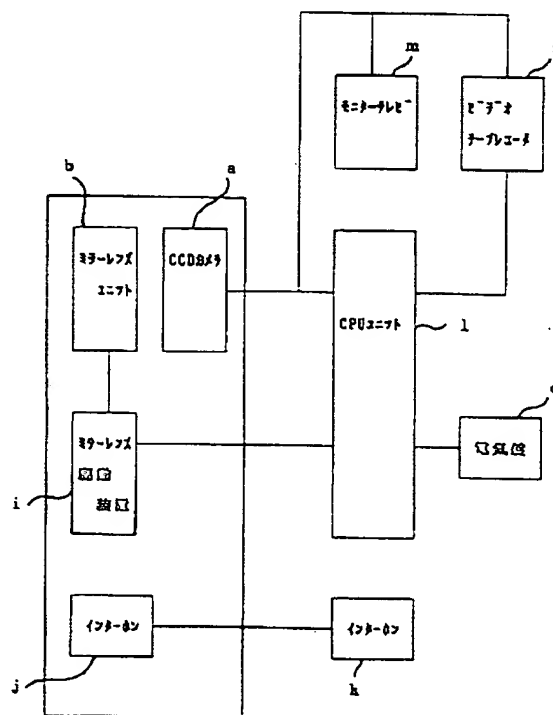
東京都江戸川区松島2丁目37番地28号

(54)【発明の名称】 網膜や指紋又はその人物の特徴を利用した本人識別器 の光学部を利用した人物像撮像

## (57)【要約】

【目的】 本人識別器の光学部で本人特徴画像のみ撮像するのではなく、人物画像も撮像できるようにすることで、本人特徴像によるドアの開錠、モニターテレビでの人物の確認、VTRなどでの保存等ができる、従来品よりもセキュリティ性の高いシステムにすることである。

【構成】 従来の本人識別用光学部に人物画像撮像用の光学部を設けて、ミラー部とレンズ部を追加し、CCD部にどちらかの画像が入る様にミラー又はレンズ、CCD部を動かして撮像する様になっている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 本人識別器の光学部でミラー又は撮像レンズ、CCDカメラ部を動かすことにより本人識別画像と人物画像の両方を撮像することが可能になり、本人識別によるドアの開錠と人物の確認をモニターテレビで見たり、VTRなどに記憶することにより、よりセキュリティ性の高いシステムにすることができる。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、本人識別器を従来品よりもセキュリティ性の高いものにするためのものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の本人識別器の光学部は本人識別画像の撮像専用であった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 人物像を撮像する為に、従来の本人識別器を改良することである。

## 【0004】

【課題を解決する為の手段】 従来の本人識別用光学部に人物画像撮像用の光学部を設けて、ミラー部とレンズ部を追加し、CCD部にどちらかの画像が入る様にミラー又はレンズ、CCD部を動かして撮像する様にする。

## 【0005】

【実施例】 図1～3は、本発明装置の1実施例の図である。

【0006】 図1は、CCDカメラaによりレンズbを通しミラーcに反射させプリズムdにのせられた本人特徴像を撮像し、c'の様にミラーを回転させることによりミラーfによりレンズgを通して人物画像hを撮像することができる方法である。

【0007】 図2はミラーcをc'の位置まで移動することにより人物画像を撮像することができる方法である。

【0008】 図3はCCDカメラaとレンズbをa'、b'の所まで回転させることにより人物画像を撮像することができる方法である。

【0009】 図4はこれらの撮像部を使用したシステム

の例で有る。

【0010】 bのミラー、レンズ部にて本人特徴像と人物画像を切換えるiの駆動装置により、aのCCDカメラにて撮像し、lのCPUユニットに画像を送り本人特徴の解析を行うと同時にmのモニターテレビにて人物画像を確認したり、必要であればnのビデオテープレコーダーにて記録できる。

【0011】 又、j、kのインターホンにて会話も可能で有る。

10 【0012】 lのCPUユニットは本人で有ることを確認したならoの電気錠に信号を送り解錠する。

【発明の効果】 以上説明したような方法をとることにより、これまで本人特徴像のみしか撮像できなかったものが人物像も撮像できるようになり、本人特徴像で解錠すると同時に人物の確認ができ、なおかつそれをVTRに保存できセキュリティ性の高いシステムにすることができた。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明装置の1実施例の図である。

20 【図2】 本発明装置の1実施例の図である。

【図3】 本発明装置の1実施例の図である。

【図4】 本発明装置の撮像部を使用したシステムの例。

## 【符号の説明】

a. CCDカメラ

b. レンズ

c. 指紋用ミラー

d. 指紋用プリズム

e. 指

f. 人物用ミラー

30 g. レンズ

h. 人物

i. ミラーレンズ駆動装置

j. インターホン

k. インターホン

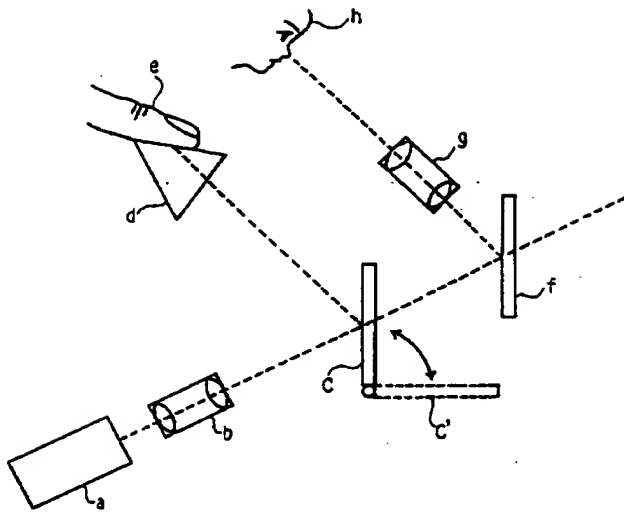
l. CPUユニット

m. モニターテレビ

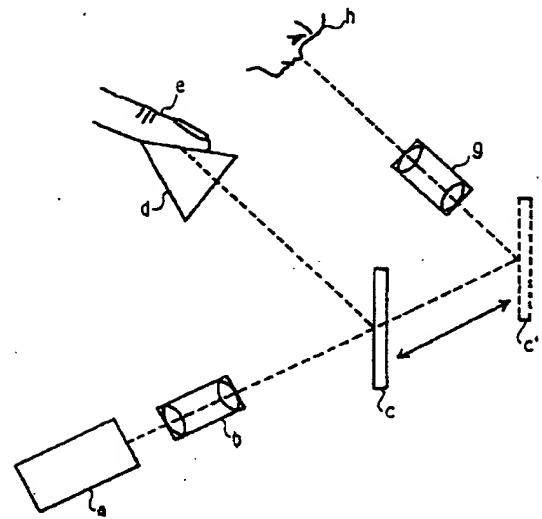
n. ビデオテープレコーダー

o. 電気錠

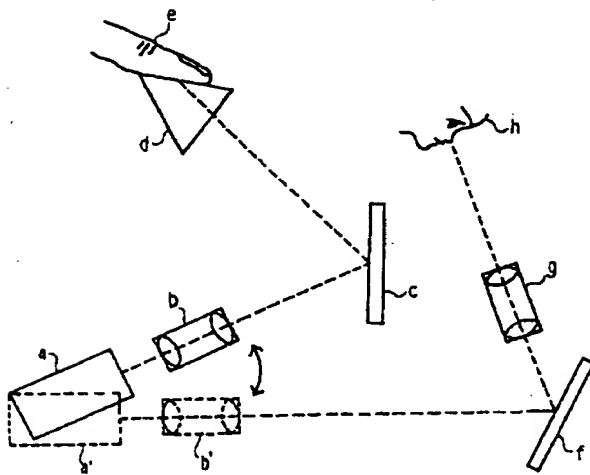
【図1】



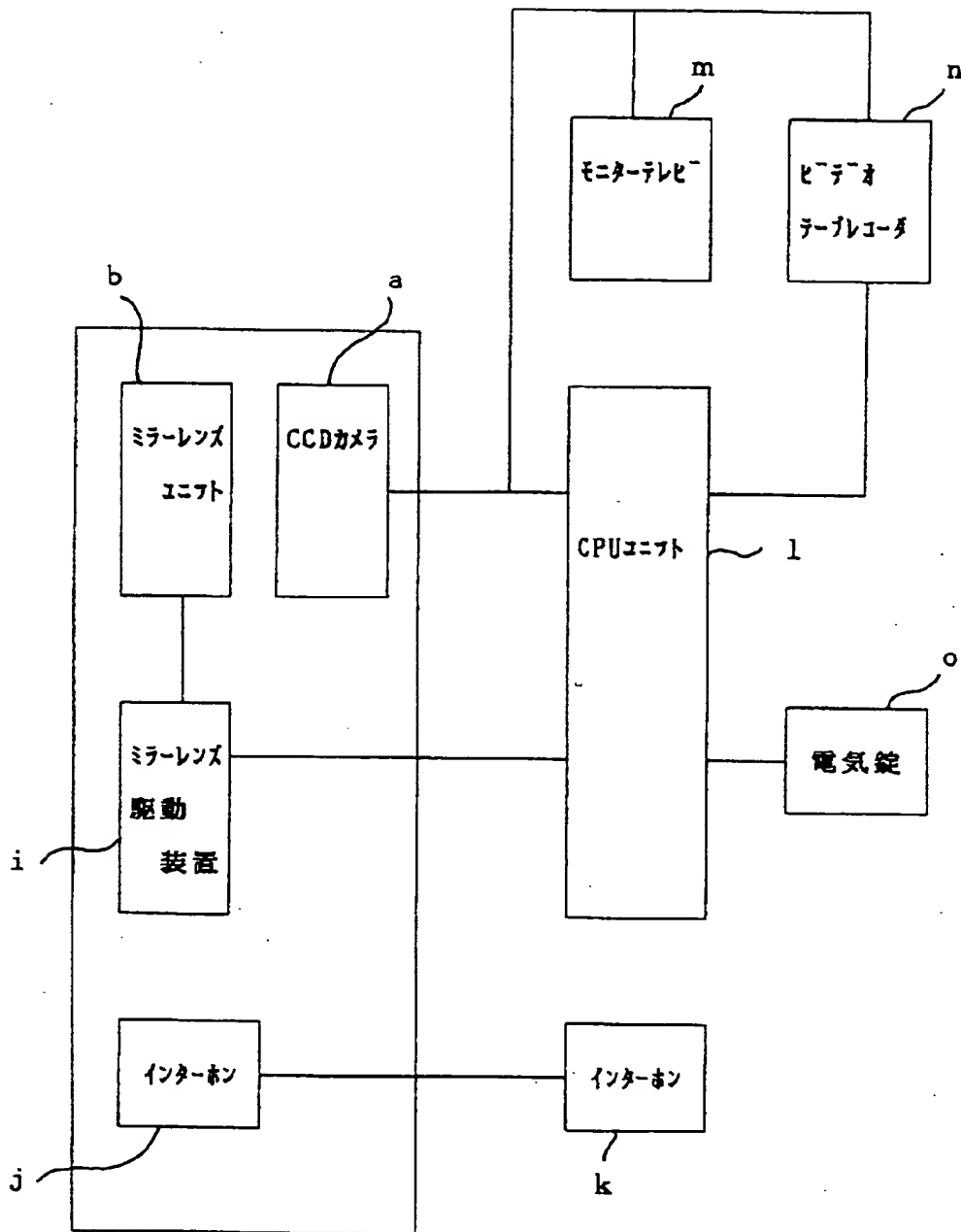
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>  
G 0 6 F 15/74

識別記号 庁内整理番号  
3 5 0 A 7315-5L

F I

技術表示箇所